

第8回社会保障審議会児童部会
児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会

H27.4.20

あきやま子どもクリニック

秋山千枝子

東京都の専門強化型の施設

http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kodomo/katei/jifukushin/jido_24nd/senmon25/senmonbukai.files/25data6.pdf

平成20年児童福祉審議会提言

- ①家庭的養育環境
- ②虐待を受けた子どもへの治療的ケア体制
- ③親への支援
- ④ケアニーズに対応した人材育成

専門スタッフ

非常勤医師：小児精神科、児童精神科、小児科、精神科

治療指導担当職員：作業療法士、言語聴覚士、心理士等

役割：①職員への事例研修、ケースカンファレンス

②子どもへの面接、心理ケア

③児童指導員等職員へのケア技術等に関する助言・指導

④生活場面での児童の状況観察及び児童指導員等職員への
コンサルテーション

⑤心理治療プログラム等の検討・実施

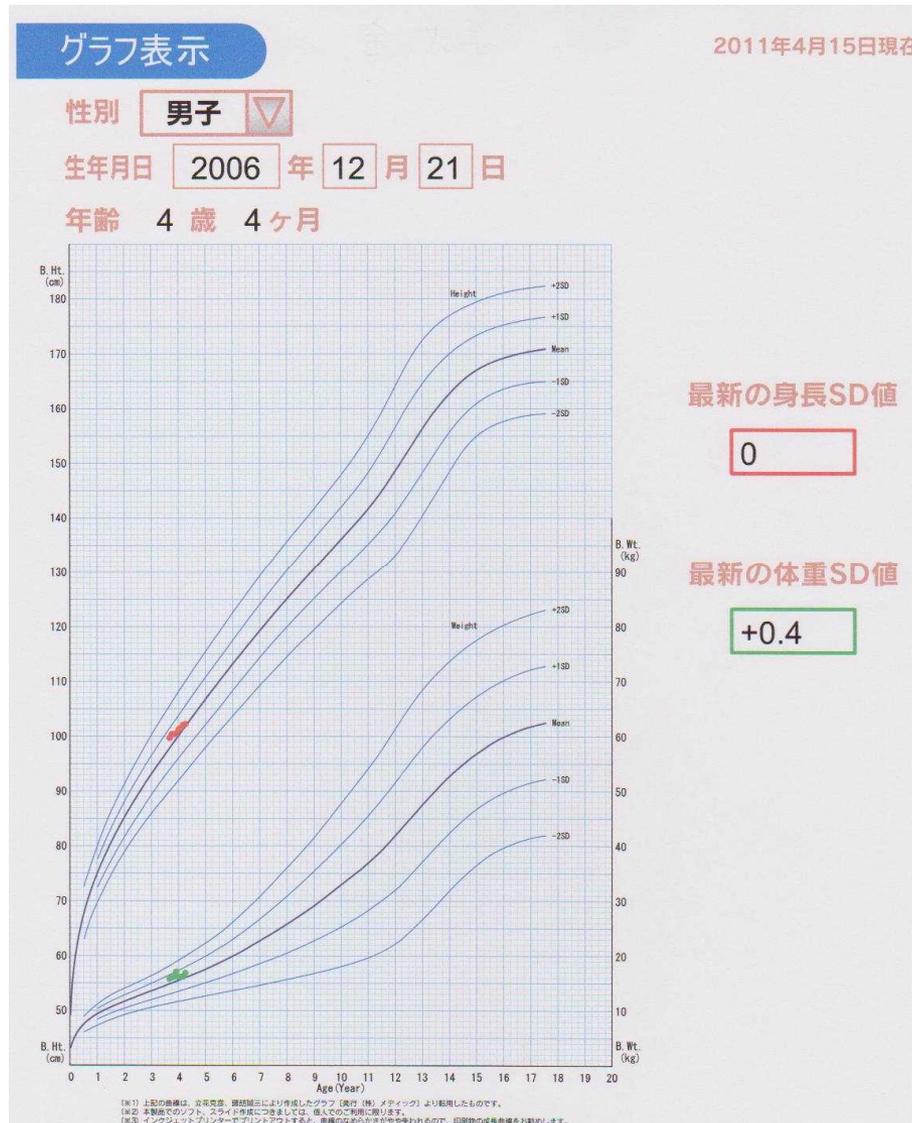
⑥施設内の治療的環境づくり 等

成長曲線

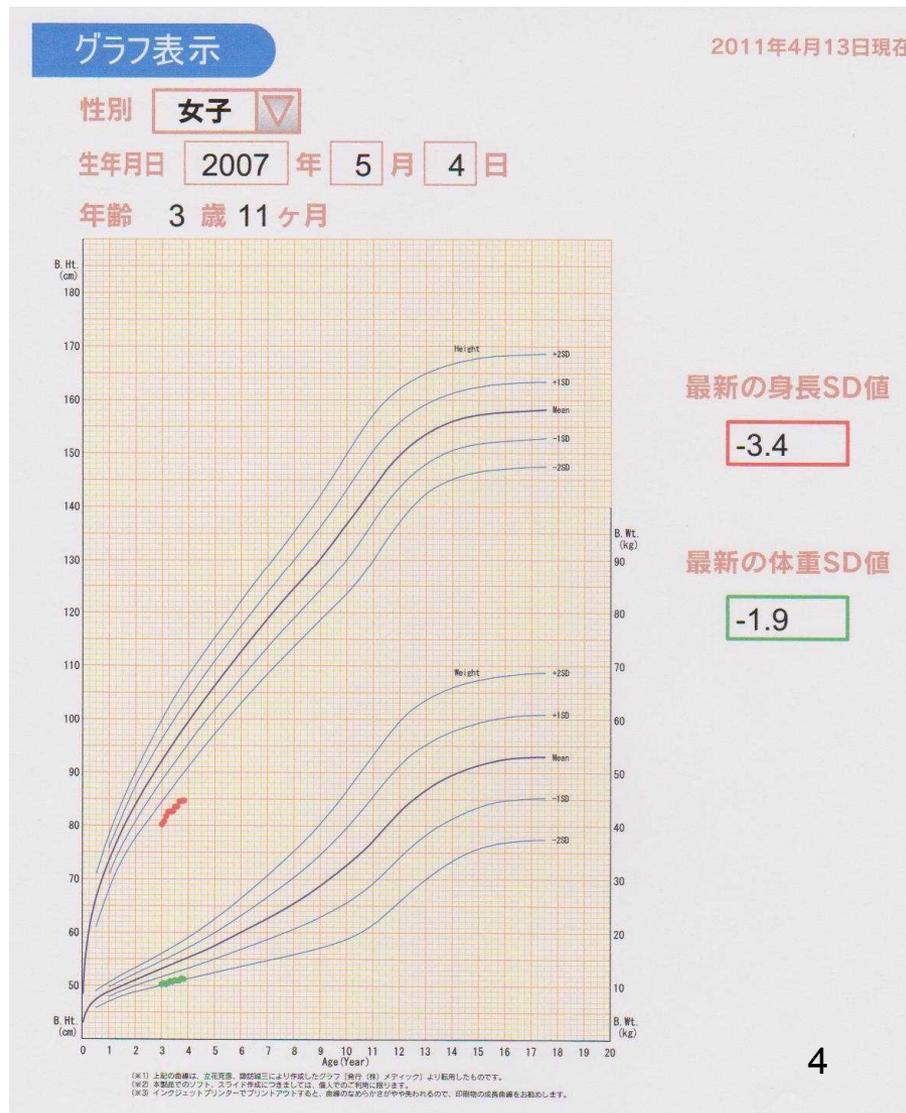
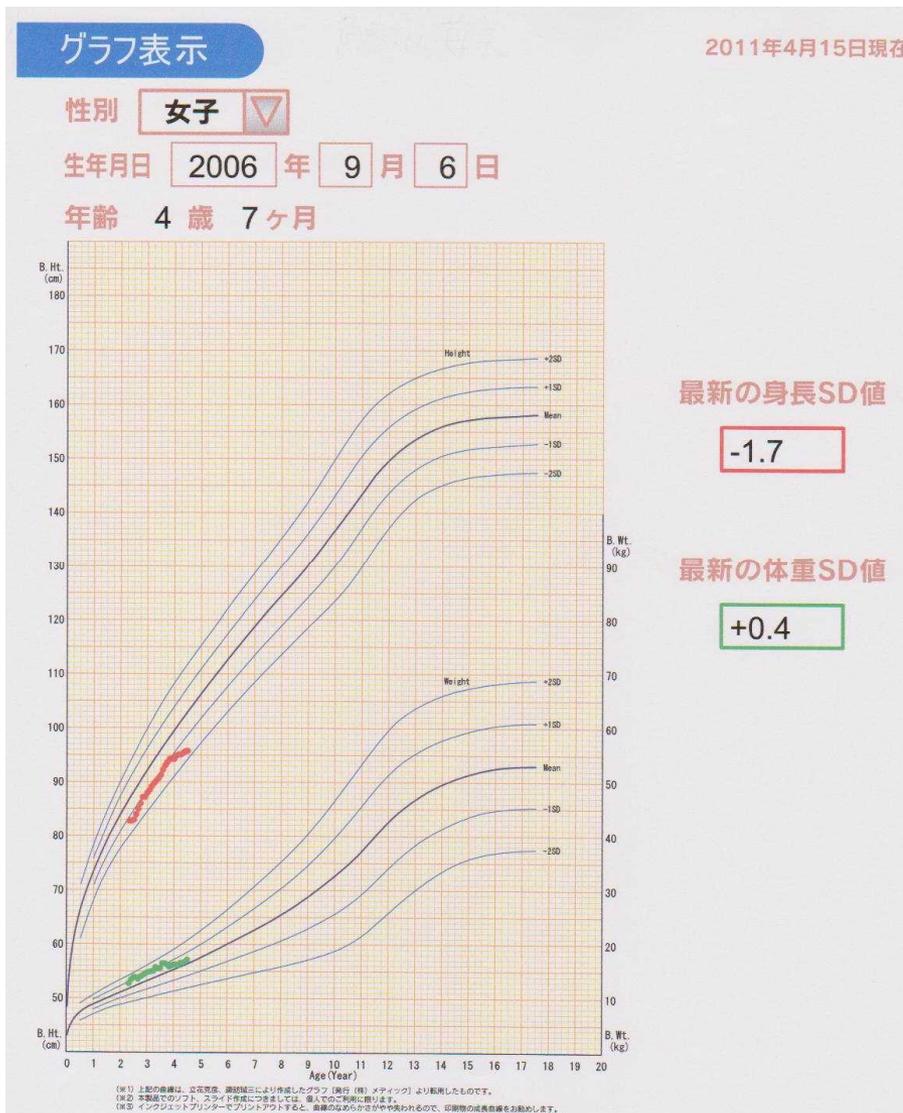
(虐待・良くない生育環境に影響を受ける)

- 体格は普通で身長も伸びている
- 体格小さいけれど身長は伸びている
- 体格は普通だけれど身長が伸びていない
- 体格が小さく身長が伸びていない

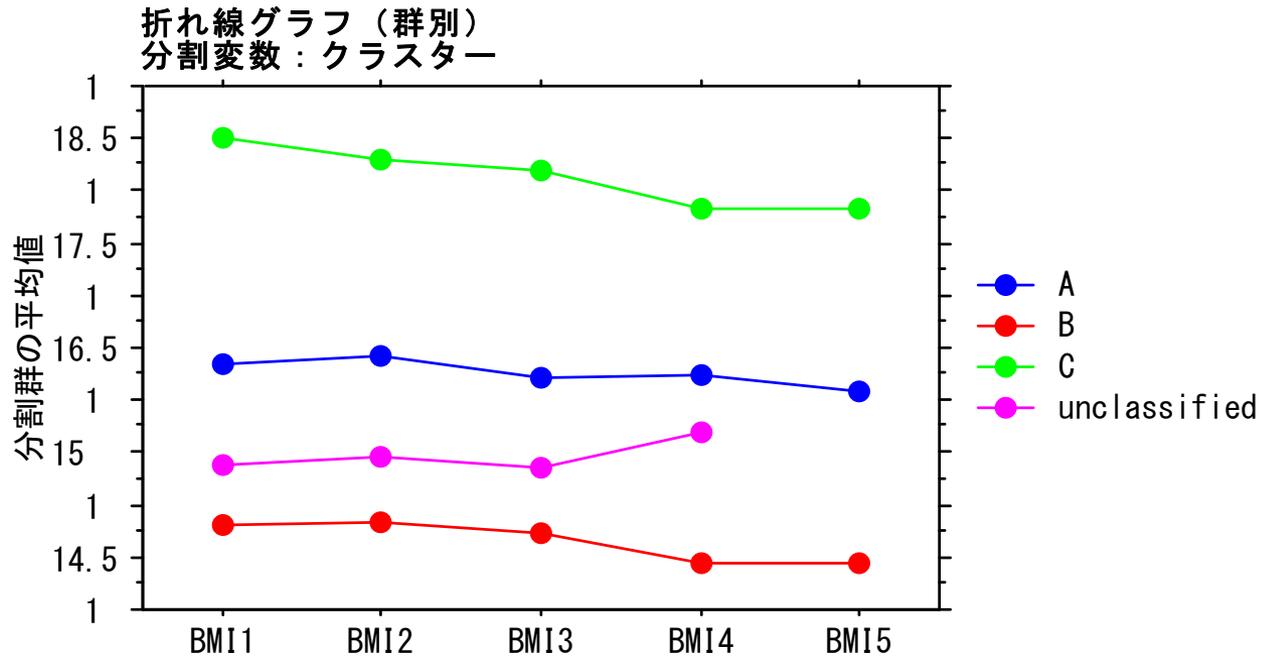
体格は普通だが身長が伸びていない



体格が小さく身長も伸びていない

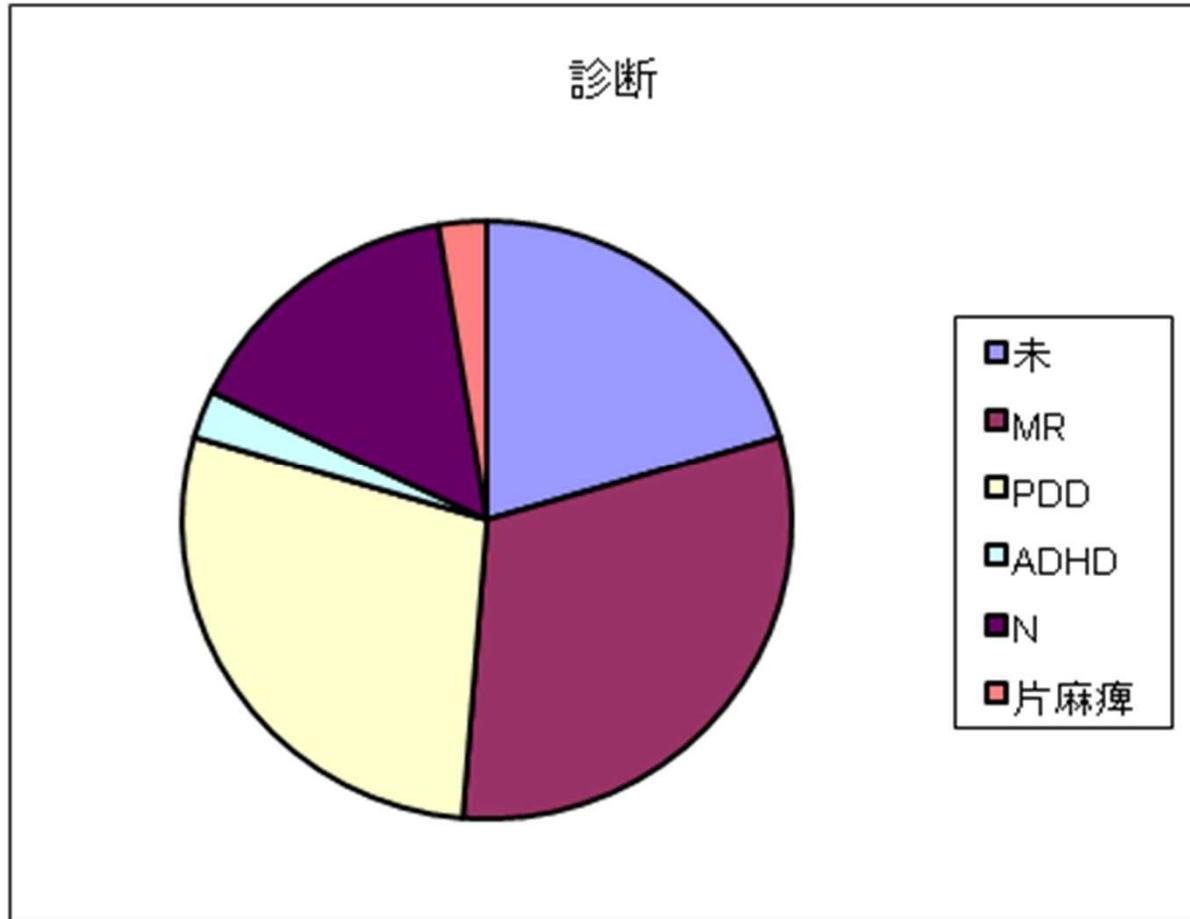


BMIで検討

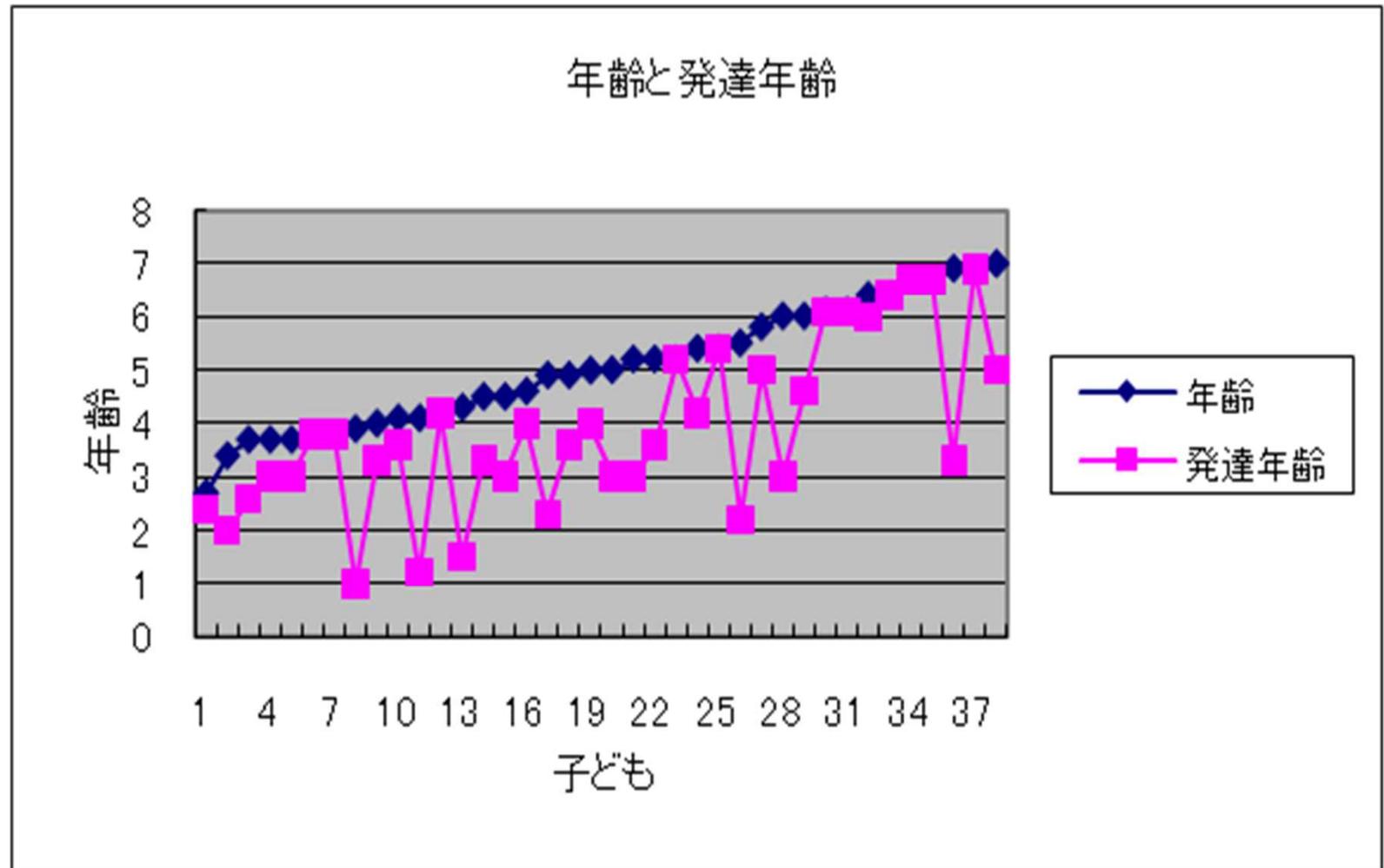


- ・入所時の年齢、DQ(IQ)、性別、診断名、虐待の有無について偏りがあるか調べたが、偏りは見られなかった。
- ・児童の入所後の成長がどのような傾向を示すかについては、それら以外の要因の関与を慎重に探索する必要がある。

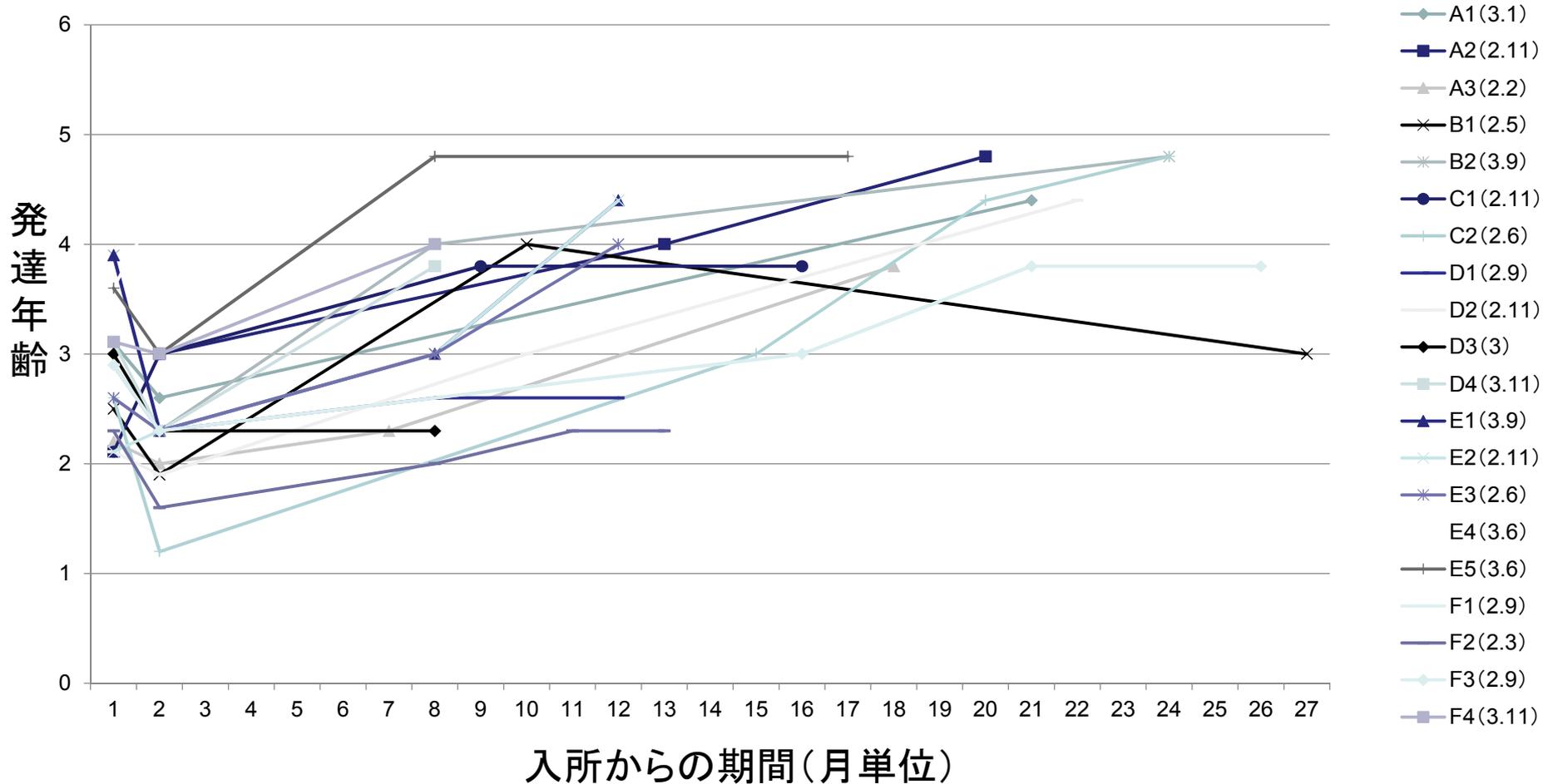
子ども達の診断名



子どもの達の発達年齢



発達年齢の推移



保育環境

施設内

- 園内保育 (3歳以上週3回 9:00～11:30)
- 園内療育 (3歳以上週2回 9:00～11:30)

施設外

- 幼稚園 (3歳以上週5日 9:00～14:00)
- 療育施設 (3歳以上週1～3回 9:00～13:00)
- 学校 (6歳以上週5日 9:00～15:00)

もし園内保育所や二重措置がなければ

	1歳	1歳	2歳	2歳	2歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	6歳																																	
月															◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎										学	特		
火															◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎											学	特
水															◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎											学	特
木															◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎											学	特
金															◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎											学	特

【○...園内保育 □...園内療育 ◎...幼稚園 △...療育施設 学...学校 特...特別支援学級】

育 児

- 自分が経験したことが基本となる
（食事、おやつ、お風呂、しつけ、外出）
- 保育や教育・研修あるいは配偶者・同居者によって変化しうる
- 施設に歴史や文化がある

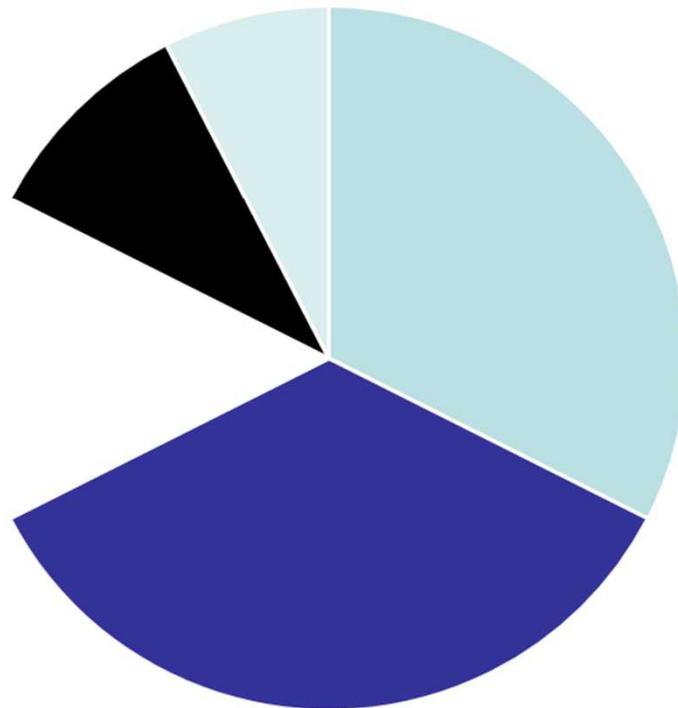
職員の経験

(アンケート調査より)

- 【問い1】 幼少の頃、お母さんからやってもらってうれしいことは何ですか？また、お母さんと一緒に楽しかったのはどんな遊びですか？
- 【問い2】 幼少の頃、お父さんからやってもらってうれしかったことは何ですか？また、お父さんと一緒に楽しかったのはどんな遊びですか？
- 【問い3】 幼少の頃、家庭でのしつけで覚えているのはどんなことですか？また、大切だったと思えるしつけはどんなことですか？
- 【問い4】 幼少の頃、幼稚園や保育園などのお友達と一緒に楽しかった遊びは何ですか？

【問い3】幼少の頃、家庭でのしつけで覚えているのは
どんなことですか？また、大切だったと思えるしつけは
どんなことですか？

大切だったしつけ



■ 食事マナー ■ あいさつ ■ 相手を思う ■ 片づけ ■ うそをつかない

職員の業務

<担当職員>

生活

支援が必要な子どもへの対応

保護者との関わり

関係機関との連携

記録

こどもの発達・学習支援のために

1、年間カリキュラム、月案、
日案の作成し、施設で統一

2、地域・外部機関の活用

（二重措置の問題を解決）

3、専門職の活用

4、施設職員の育成

5、継続した環境

（施設変更は最小限にとどめること）

児童養護施設で生活する高校生の声 今、あなたが一番したいこと

私たちのような子どもが差別されることが、少しでもなくなってほしい。普通の家庭で育った子どもにも勝るとも劣らない子どもが施設にもいることを証明するために、私は勉強したい。体も鍛えたい。 そうしないと、毎日、劣等感に押しつぶされそうになる。

出所:「今、施設で暮らす子どもの意識調査:10年を経て一児童養護施設、情緒障害児短期治療施設、児童自立支援施設の10年」(大阪市児童福祉施設連盟養育指標研究会、2010年)p159より